

いきいき終活セミナー

去る十一月二日(日)午後一時

半く徳成寺において、いきいき終活セミナーが開催されました。講師は、社労士にしてフィナンシャルプランナーの篠原也寸志先生です。

人間には、三つの寿命があると始まりました。平均寿命と健康寿命と資産寿命です。その他、人との関わりの人的資産もあるという事で、これらを有効活用して



想いや理想を実現し、周囲に迷惑をかけずに自分らしい一生を送るのが、終活の目的であると教えて下さいました。

その終活の前に知っておきたいあれこれとして、①これからの暮らし②あなたの健康③介護が始まった時

④相続⑤あなたの生涯にわたるお金⑥自分らしい生活とは、と6つ上げて下さいました。

統計的な資料をもとに、争族と呼ばれる家族で揉めやすいのは、家屋土地・現金などの総額で五千万円までのケースが八割なのとか。また土地家屋と現金が少しいというケースもよく揉めているのだそうです。

お金との付き合い方は、あなたの生き方そのものであるそうで、ライフプランを立てる際に、健康の土台の上に生きがいを載せて、お金でそれを守っていく、下の健康から生きがいとお金を積み上げていくのだと指摘して頂きました。

最終的に、自分が亡くなる時に、現金が使いきれずに残っているのが幸せなのかどうかは、皆さん一人一人に課されている宿題です、と投げかけておられました。

この事は、⑤の生涯にわたるお金の部分でも、家計を見直す際にも大事で、固定費を削るのに食費や水光熱費の節約がストレスになって、土台である健康を脅かすようでは何のための儉約なのか、本末転倒になるということでした。

なかなかちよいどいいとかいい加減が難しいようです。でも最後に、夫婦や親子でお金にまつわる話し合いをする大切さを強調しておられました。とても深い内容でした。

